

学年	高校 3 年	教科	英語	科目	英語 コミュニケーションⅢ	単位数	6
教科書名	LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館)			副教材名	・ 英文速読ドリル 10minutes Level 2 (Z 会出版) ・ 速読英単語 必修編 (Z 会出版) ・ Listening Platform 2 (いっいずな書店)		
コース・クラス	選抜理系						

I. 目標

1. 難関私立大学レベルの入試で実際に出題された長文問題のレベルや傾向を把握し、読み解けるようになる。
2. 基礎学力到達度テストにおいて、長文問題の正答率 70%、共通テストにおいては正答率 60%を目指す。
3. 卒業時までには実用英語検定 2 級以上及び CEFR B1～B2 レベルの英語力の習得を目指す。
4. 継続的にリスニングの演習を行い、実践的な出題形式と難易度の問題に取り組み、基礎学力到達度テストにおいてリスニング問題の正答率 80%を、共通テストにおいては正答率 70%を目指す。
5. 日常的にリスニングとリーディングを結び付けた学習を継続し、英語を使いこなす実践的な力を養成する。

II. 授業のねらい

1) 聞くこと・読むこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文などから必要な情報を聞き取り、話や文章の展開や概要、要点や話し手・書き手の意図を把握することができる。
- ② 未習の単語や表現が含まれていても、前後の文脈から内容を把握できる。
- ③ 時間内に多量の文章を読む試験形式に対応するため、文単位・段落単位で情報を処理する力をつける。
- ④ 聞いた内容を整理し、必要な情報を即座に理解する力をつける。
- ⑤ 日常的に英語を英語で理解する力をつける。

2) 話すこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文など事前の準備することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して論理的に伝えることができる。
- ② 教科書の文章表現を自分の言葉にして英語で説明ができる。

3) 書くこと

教科書に出た重要構文の文法表現を用いた表現を活用し、論理的な文章を書けるようにする。

III. 授業の進め方

- 1) 単語学習の指導方法として『速読英単語必修編』を用いて、英文を読むことを通じて語彙力の定着を図る。毎週 SHR において英単語テストを実施し、短文の読解問題も出題することで、語彙力と速読力を実践的に確実に身に付ける。単語や熟語を文脈の中で覚え、音声付き教材を活用し、シャドーイングやオーバーラッピングで文全体を口に出す練習をする。
- 2) 論理的な文章の流れを理解し、結論や要点を把握する能力を身に付ける授業を展開する。
- 3) 新聞記事や短い英語のブログを活用し、1 分で読む段落数を増やす練習を行う。
- 2) 『英文速読ドリル 10minutes』を使用し、週に 2 回程度実践形式の問題に取り組む。基礎学力到達度テストだけでなく他大学入学試験を見据えた演習形式の問題に取り組む。

- 3) 『Listening Platform2』と副教材の付録『ディクテーションノート』で学習した後、音声のみで内容を理解できるまで反復練習する。
- 4) 聴いた内容を短文で要約し、アウトプットに結び付ける練習を日常的に行う。

IV. 学習上の留意点

教科書や副教材で学んだことを基礎として、難関私大の入試で問われる問題に取り組む時間を設ける。

V. 定期試験

- ・基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を数題出題する。
- ・授業で扱った箇所は、全体の6割程度出題する。
- ・初見実力問題と難関私大で出題された入試問題と同じ問題形式で全体の4割程度出題する。
- ・以下の予定で、教科書、副教材の指定範囲から出題する。
 - 1 学期中間試験： LANDMARK Lesson 1～2
 - 1 学期期末試験： LANDMARK Lesson 3～4
 - 2 学期期末試験： LANDMARK Lesson 5～7
- ※授業の進度により定期試験の試験範囲を変更する場合がある。
- ・リスニングについては授業内で確認テストを実施する。

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	① LANDMARK Lesson 1 『Incredible Edible』 ・基礎学力到達度テスト過去問題 ・リスニング Lesson1～2	・英単語テスト ・小テスト ・中間試験 ・期末試験 ・長文読解課題	【リーディング】 ・基礎学力到達度テスト及び大学共通テストレベルの英単語を習得する。 ・言い換え語句などを有効に利用し、英文を読める力をつける。 ・毎単元の音読を重視し、基礎学力到達度テストをはじめ他の外部試験にも対応できるようにする。 ・上記に加え、ディスコースマーカーやパラグラフの構成をつかめるようになること。 ・英文を読み解く上で正しく因果関係をみつけることや、複数の事柄がどのような意図を持って対比されているかなど読み取ることができる。 ・それぞれのパラグラフで述べられている主張やその根拠を読み取ることができる。 ・短い時間である程度の長さの英語の文章を読み、筆者の言いたいことを理解し、問題を解く上で必要な情報を見つけることができる。
	5	② LANDMARK Lesson 2 『Blood is Blood』 ・リスニング Lesson3～5		
	6	③ LANDMARK Lesson 3 『Saving Our Treasures from the Sea』 ・リスニング Lesson6～9		
	7	④ LANDMARK Lesson 4 『Men's Brains vs. Woman's Brains』 ・リスニング Lesson10 ※適宜、基礎学力到達度テストの過去問や入試問題にも取り組む。 ◎1 週間の授業の内容は、読解4 コマ、リスニング1 コマ、基礎学対策演習1 コマとする		【リスニング】 ・「買い物等の情報」「計画等の流れ」に関する知識習得。 ・「物の位置」「物の描写」「言い換え」に関する知識習得。 ・「話の概要」「数字・金額等の情報」「応答表現」「話の要旨」に関する知識習得。 ・「道順」に関する知識習得。 ・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得。 ・難関私大レベルの発展問題の演習を継続的に実践し、既習事項の応用力を養う。

二 学 期	9	⑤ 基礎学力到達度テスト 対策 ・リスニング Lesson11～13		【リーディング】 ・スキミングを習得し Key word をつかむ訓練を積み長文を効果的に読解できる力をつける。 ・毎単元の音読を重視し、基礎学力到達度テスト及び大学共通テストに対応できるようにする。 ・上記に加え、スキヤニングを習得し、長文を効果的に読解できる力をつける。
	10	⑥ LANDMARK Lesson5 『Political Correctness』 ・リスニング Lesson14～17	・英単語テスト ・小テスト ・期末試験 ・長文読解課題	【リスニング】 ・基礎学力到達度テストに向けた実践的な演習と知識習得。 ・「内容推測」に関する知識習得。 ・「音声・知覚情報の統合」「要点のメモ」「言い換え（発展）」「情報取舍選択」に関する知識習得。 ・「立場と主張」「指示理解」「内容推測（発展）」「音声・知覚情報の統合（発展）」に関する知識習得。 ・「要点のメモ（発展）」に関する知識習得。
	11	⑦ LANDMARK Lesson6 『Jose Mujica: The World's Poorest President』 ⑧ LANDMARK Lesson 7 『Where Did dogs Come from?』		
	12	・リスニング Lesson18～20 ◎1 週間の授業の内容は、読解 4 コマ、リスニング 1 コマ、基礎学対策演習 1 コマとする		到達度テスト以降は、教科書と副教材のほか、難関私大レベルの長文問題を扱う授業を展開する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。